

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、橋本市民の人権問題についての意識の実態を把握し、今後の人権施策を推進していく上での基礎資料を得るために実施しました。

2. 調査項目

1. 人権全般について
2. 女性の人権について
3. 子どもの人権について
4. 高齢者の人権について
5. 障がい者の人権について
6. 同和問題について
7. 外国人の人権について
8. 感染症（ハンセン病、H I V等）や難病等患者の人権について
9. 犯罪被害者およびその家族の人権について
10. 刑を終えた人に関する人権について
11. 情報と人権について
12. 人権課題等の解決のために
13. 回答者の基本属性

3. 調査設計

調査地域 橋本市全域
調査対象者 橋本市在住の20歳以上の男女
調査人数 2,000人
調査期間 平成22年10月8日～10月22日
調査方法 無作為抽出（性別・年齢階層別）
郵送による調査票の配布・回収

4. 回収結果

調査票	調査対象者数 (発送数)	有効回答数	有効回答率
人権に関する市民意識調査	2,000	918	45.9%

* 無効票（白票等の無効回答）はありません。

5. 標本誤差

本調査は、標本調査であり、標本による測定値（調査の結果）に基づいて母集団値を推定する。

調査の結果、918 件を回収し、95%の信頼度のもとで、標本誤差は、3.3%以内であった。

表 信頼度 95%における主要な%の信頼区間の 1/2 幅

%		1/2 幅
50		3.3
55	45	3.3
60	40	3.2
65	35	3.1
70	30	3.0
75	25	2.8
80	20	2.6
85	15	2.3
90	10	2.0
95	5	1.4

$$2\sqrt{(N-n) \cdot P(100-P) / (N-1) \cdot n}$$

N：母集団数（55,342 人）

n：標本数（918 人）

P：測定値（%）

注：母集団数は平成 22 年 9 月末現在の 20 歳以上の人口

6. 報告書の見方

- ・ 図表のタイトルの中に、「N」とあるのは、「回答者数」のことです。
- ・ 設問が複数回答の場合は、図表のタイトルの中に「複数回答」と示しています。そのあとに例えば「3」と記載している場合は、○を付けることのできる選択肢数が3つまでであり、また特に記載がない場合はいくつでも選択肢に○を付けてよいことを示しています。
- ・ 集計図表は、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、回答比率を合計しても100%にならない場合もあります。
- ・ 回答比率はその設問の回答者数を母数として算出しました。複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合もあります。
- ・ 職業別については「その他」を「パート・アルバイト」、「主婦・家事手伝い」、「無職」、「その他」の選択肢に再分類しました。
- ・ クロス集計表について、回答率の高い選択肢に網かけをしています。